

二宮町 公共施設再配置・町有地有効活用

町民ワークショップ

公共施設と町有地 今できることとこれからを考える

2017. 7.21 (金) 19:00~

町民ワークショップの背景

- ・現在、町には66の公共施設がありますが、その多くは、老朽化が進み、施設の建替や改修が必要となっています。
 - ・しかし、将来の人口減少や厳しい財政状況から、将来にわたってすべての公共施設を維持することは難しく、施設の統廃合・複合化、管理運営の効率化などの方策が必要です。
 - ・また、町には、まとまった敷地を持つ未利用地がいくつかあります。
 - ・中でも、東京大学果樹園跡地は、町の計画で「新交流ゾーン」と位置付けられており、町の魅力向上につながるよう有効活用する必要があります。
- 
- ・平成28年度、町は、課題に対処するための今後50年間の方針をまとめた「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画策定方針」(策定方針)を策定しました。
 - ・平成29年度は、今後10年間の具体的な取り組み内容を取りまとめた「実施計画」を策定します。

● 目標年次

- ・平成72年(2060年)
⇒ 概ね50年間を見据えます

● 対象とする公共施設と町有地

- ・公共施設:庁舎、貸館、福祉施設、スポーツ施設、文化施設、教育施設、子育て関連施設、消防施設、地域集会施設、その他施設
⇒ 計66施設
- ・町有地: 東京大学果樹園跡地、国立小児病院跡地、正泉寺跡地

策定方針の概要

●二宮町の公共施設

【公共施設の分類一覧】

施設分類	施設
庁舎	役場庁舎 町民サービスプラザ 教育委員会事務所 消防庁舎
貸館	町民センター 駅前町民会館
福祉施設	保健センター 福祉ワークセンター
スポーツ施設	町立体育館 町民運動場 武道館 町民温水プール 山西プール（袖が浦プール※）
文化施設	生涯学習センター ラディアン ふたみ記念館
教育施設	小学校（3校） 中学校（2校） 学校給食センター
子育て関連施設	百合が丘保育園 子育てサロン（2施設）
消防施設	分団詰所（5施設）
地域集会施設	児童館（8施設） 老人憩の家（9施設） 公会堂（2施設） 防災コミュニティーセンター（6施設）
その他	自転車駐車場（2施設） 公園管理棟（3施設） （旧）ITふれあい館（みちる愛児園） にのみや町民活動サポートセンター 環境衛生センター桜美園 ごみ積替施設 ウッドチップセンター （旧）ふるさとの家 袖が浦プール※

※袖が浦プールの施設分類はその他としますが、スポーツ施設のプールと一体的に検討を行います。

策定方針の概要

人口の減少と厳しい財政状況の中で、町の公共施設を現在のまま維持し続けることが難しくなっています。

施設分類	施設数 (箇所)	延床面積		町民1人当たり※ ¹ 延床面積 (㎡/人)
		面積(㎡)	構成比(%)	
庁舎	4	4,819.9	6.9%	0.17
貸館	2	3,051.9	4.4%	0.11
福祉施設	2	1,493.4	2.2%	0.05
スポーツ施設	5	5,390.8	7.8%	0.19
文化施設	2	5,506.5	7.9%	0.19
教育施設	6	34,884.1	50.3%	1.23
子育て関連施設	3	579.2	0.8%	0.02
消防施設	5	445.7	0.6%	0.02
地域集会施設	25	5,350.9	7.7%	0.19
その他	12	7,895.8	11.4%	0.28
合計	66	69,418.2	100%	2.45
参考)全市町村の公共施設の人口1人当たり延床面積※				3.80

※平成26年度公共施設状況調(総務省)の公有財産の建物延べ床面積と平成27年国勢調査の総人口により算出

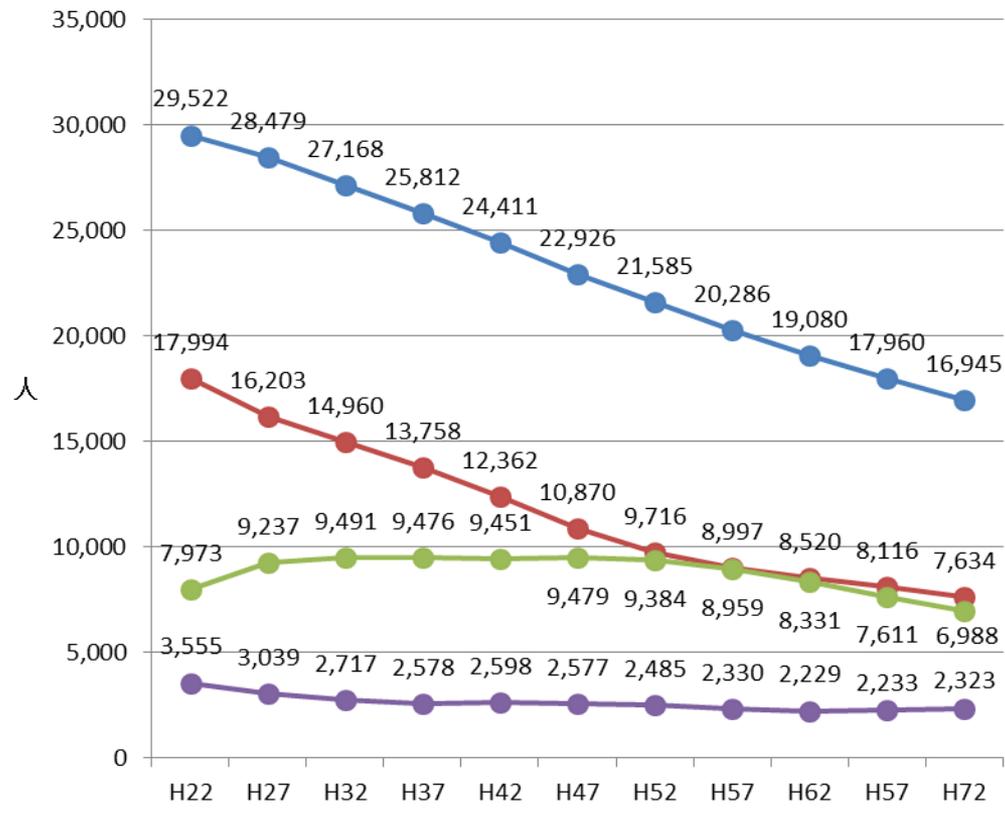
現在、既に町民1人当たりの延床面積は全市町村の公共施設の人口1人当たり延床面積を下回っています

策定方針の概要

● 将来の人口

・二宮町の人口は今後も減少を続け、少子高齢化もさらに進行すると予測されています。

【二宮町人口ビジョンによる将来人口推計（将来展望）】



平成72年に向かって出生率を2.07まで回復させる(平成25年時点では1.19)とともに、転出超過である社会移動を0にし、人口を約17,000人以上とすることを目指しています

- 総人口
- 15～64歳(生産年齢人口)
- 65歳以上(老年人口)
- 0～14歳(年少人口)

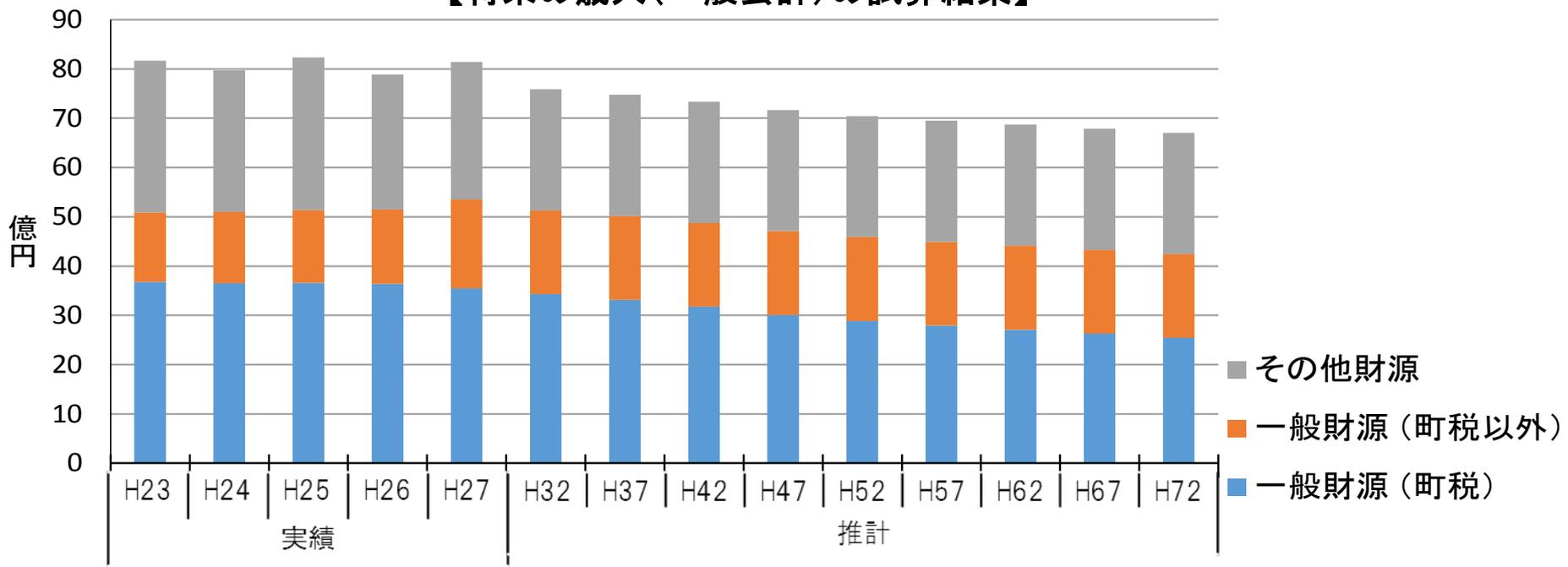
出典: 二宮町人口ビジョンのシミュレーション①の推計結果より作成

策定方針の概要

● 将来の財政

・歳入は、平成27年度の約81億円から平成72年度には約67億円まで減少することが見込まれます。（「二宮町人口ビジョン」の将来人口展望に基づき試算）

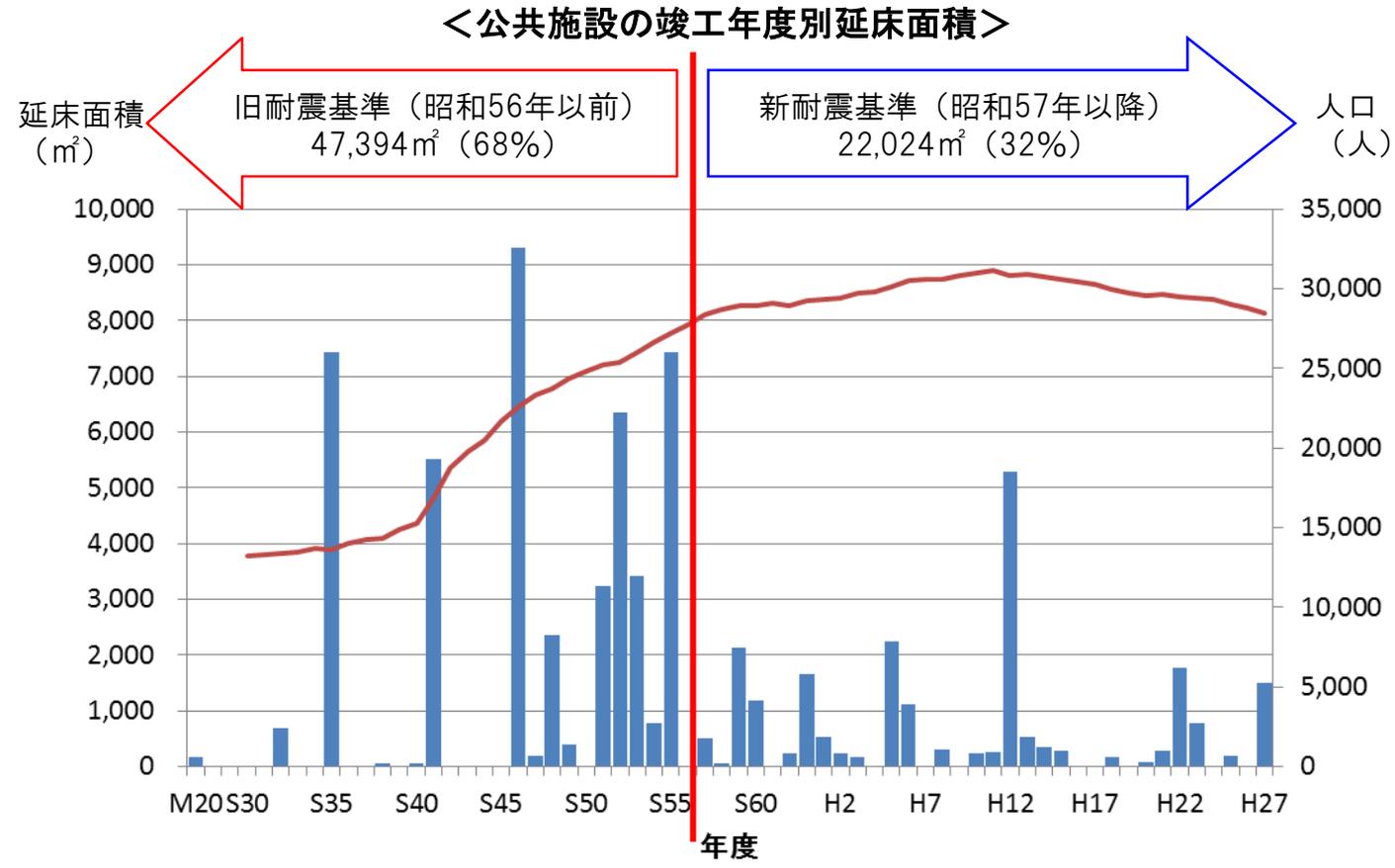
【将来の歳入(一般会計)の試算結果】



策定方針の概要

●公共施設の現状

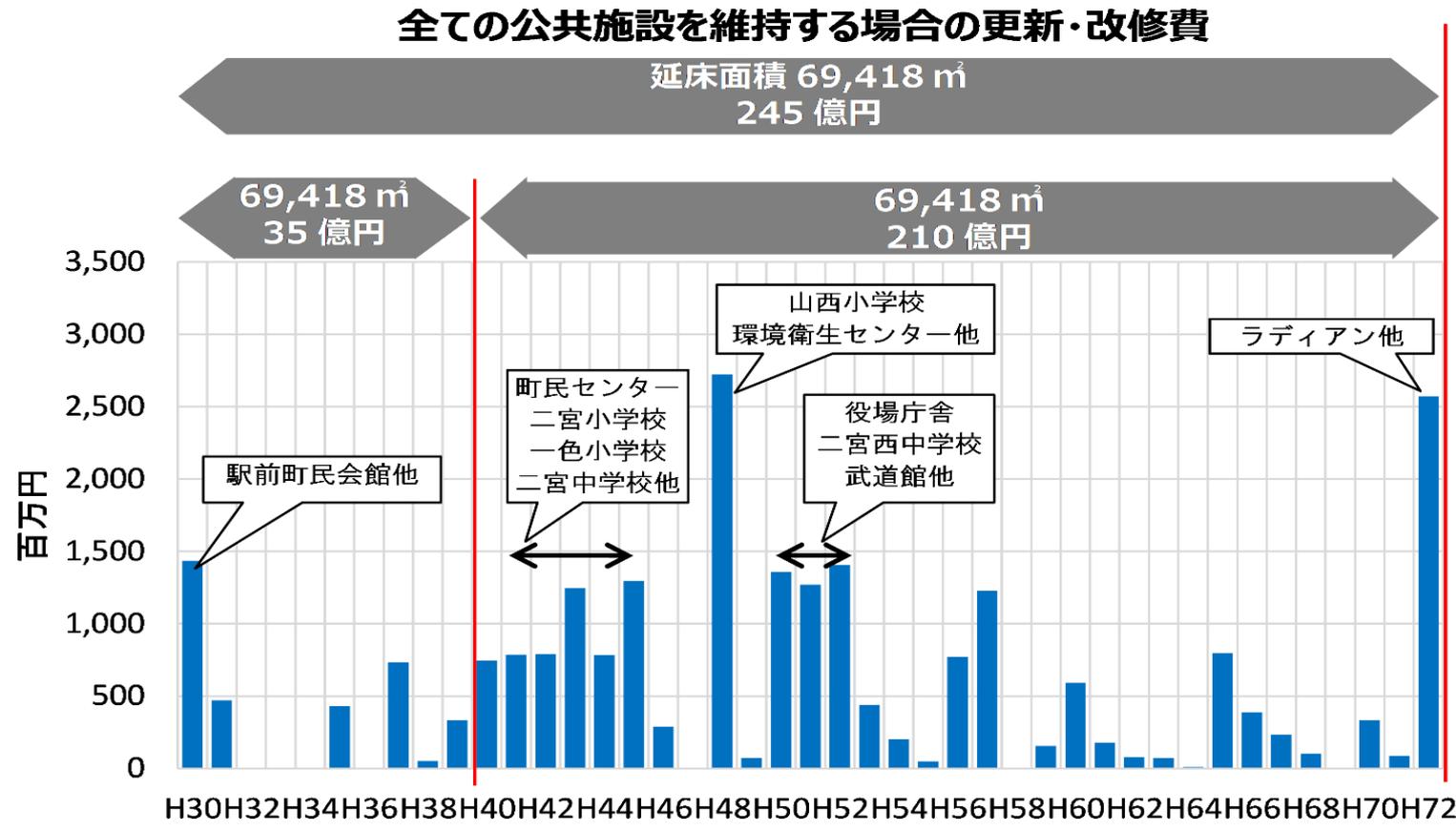
・66施設中31施設が建築後30年以上経過し、16施設が新耐震基準に準拠していない状況です。



※小中学校、百合が丘保育園、消防庁舎、第4分団詰所、第4分団詰所については、耐震補強済み

策定方針の概要

・現在ある公共施設をすべて更新・改修した場合、今後50年間で約245億円の経費がかかりますと見込まれます。



公共施設の延床面積を削減することにより、経費の縮減に努める必要があります。

策定方針の概要

●町有地の現状

- ・町は、3つのまとまった面積をもつ町有地を購入し所有しています。
- ・現状では、これらの土地は暫定利用に止まっており、公共施設の用地や地域振興につながる活用の検討が必要です。

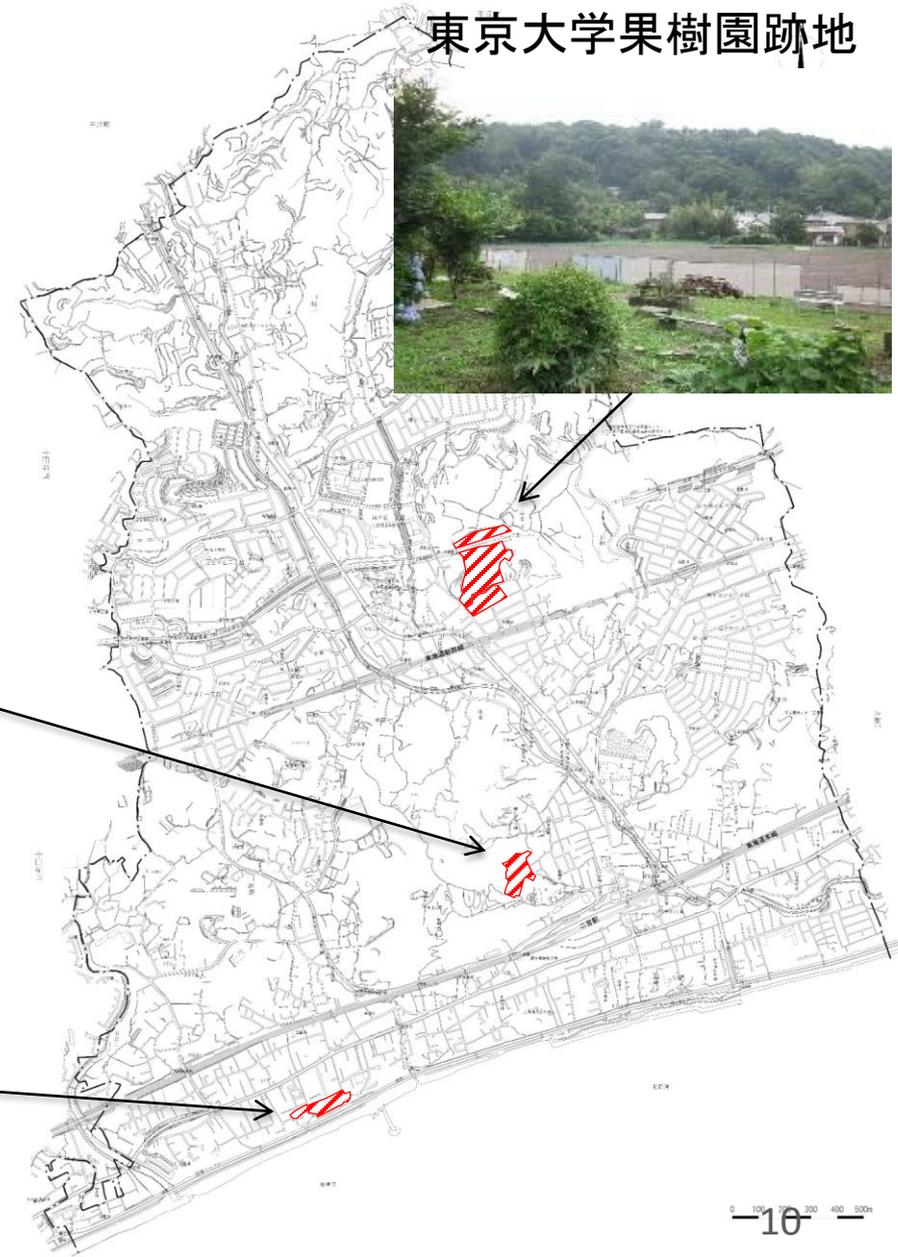
東京大学果樹園跡地



正泉寺跡地



国立小児病院跡地



策定方針の概要

公共施設と町有地の現状と課題を受け、公共施設再配置および町有地有効活用を進めるうえで基本的な考え方となる、「実施計画策定方針」を定めました。

実施計画策定方針

- ◆行政サービスの維持・向上に資する実施計画の策定
- ◆町民参加による実施計画の策定
- ◆公共施設再配置の着実な推進に向けた目標設定と目標達成手法の検討

策定方針の概要

「実施計画策定方針」に基づき、今後50年間の公共施設の削減目標を設定しました。

公共施設の削減目標

今後50年間で現状の公共施設の
総延床面積に対し35%削減

【計画期間別の削減目標】

	短期 (10年後まで)	中期 (40年後まで)	長期 (40年後以降)
延床面積の 削減目標	2%削減	30%削減	35%削減
更新・改修費の 削減効果	40%削減		



策定方針の概要

削減目標達成イメージ

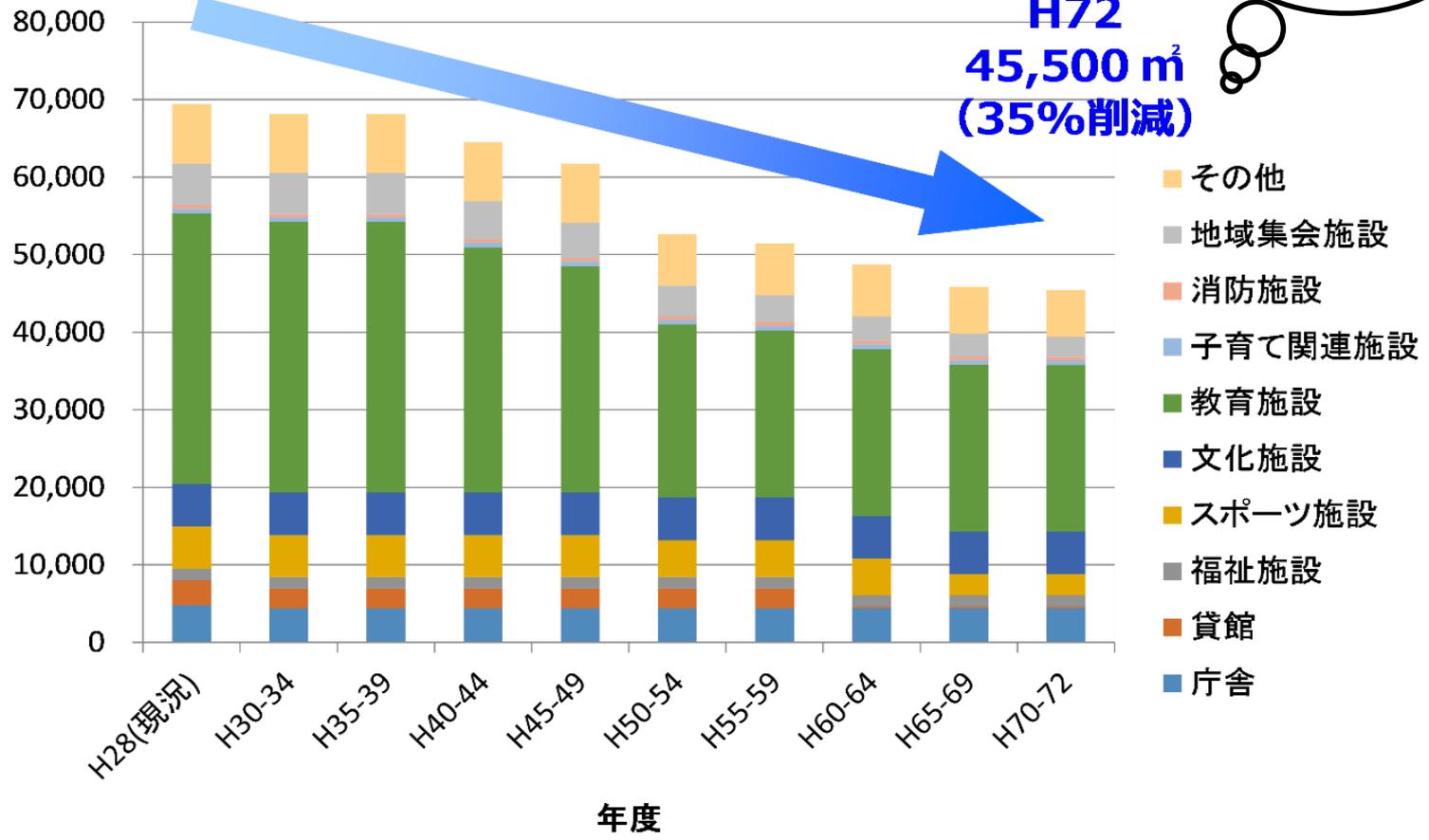
～統廃合・複合化による延床面積の変化～

H28 (現況)
69,418 m²

平成30～72年度における公共施設への投資可能額

143億円(年平均 3.3億円/年)

H72
45,500 m²
(35%削減)



策定方針の概要

- 町民サービス・利便性の向上が期待できる
- 民間のノウハウや資金の活用が可能
- 比較的短期間で事業効果を町民にアピールできる

以上の3つの観点からシンボル事業を位置付け、町民意見を踏まえた検討を行います。

◆シンボル事業1：東京大学果樹園跡地の交流拠点としての有効活用

◆シンボル事業2：スポーツ施設の管理運営の効率化

◆シンボル事業3：老朽化した施設の統廃合・複合化（駅前町民会館など）

シンボル事業については、他の事業に先行し、早期の着手を目指します

策定方針の概要

●シンボル事業1: 東京大学果樹園跡地の交流拠点としての有効活用

- ①町の中心にあり、将来の公共施設(再配置)用地として重要
- ②東京大学果樹園跡地への大規模な投資は困難
- ③本格活用については長期的に公共施設(再配置)用地として、検討を進めるが、その際には庁舎整備の方向性と将来の学校のあり方の検討結果を踏まえる
- ④短期、中期では、子ども達を中心とした交流の場としての活用について、町民が主体となった団体との連携を含む民間事業者などへの事業提案募集について検討

＜短期・中期＞
子ども達を中心とした
交流の場

町民が主体となった団体を含む民間事業者などへの事業提案募集



＜長期＞
公共施設(再配置)用地

庁舎整備の方向性と将来の学校のあり方の検討結果を踏まえ検討



策定方針の概要

●シンボル事業2:スポーツ施設の管理運営の効率化

- ①管理運営の効率化や管理運営費の縮減、民間のノウハウを活かした魅力的なサービス提供を図るため、指定管理者制度などの公民連携によるスポーツ施設の一体的な管理運営方法の導入を検討
- ②スポーツ施設については長寿命化を図り利用を継続しながら、更新時期に合わせた統廃合を検討
- ③3つの町営プールについては、当面の施設管理費用の縮減を図るため、学校の水泳授業への影響を検証した上で、早期の統廃合を検討
- ④統一的な予約方法と受益者負担のあり方について検討



一体的な管理運営

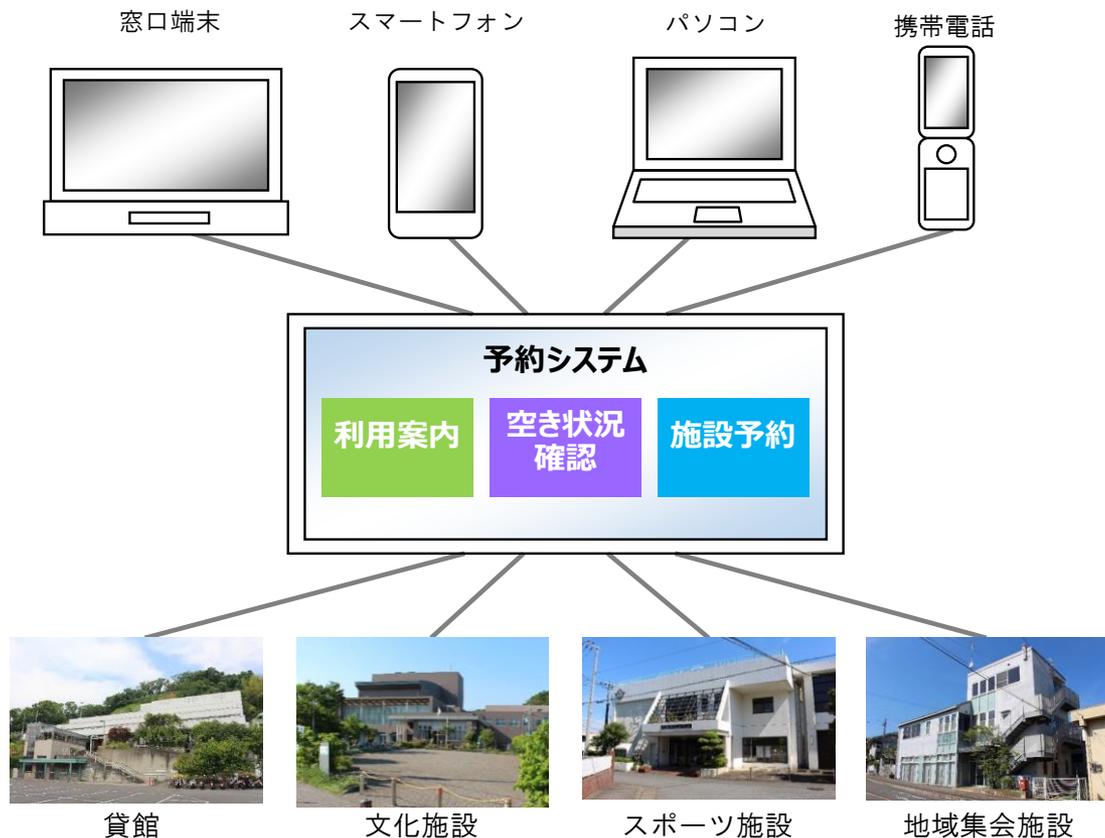


管理運営の効率化・管理運営費の縮減
魅力的なサービスの提供

策定方針の概要

●シンボル事業3:老朽化した施設の統廃合・複合化(駅前町民会館など)

- ①統廃合・複合化の後も、現在の利用者が活動の場を確保できるよう、町内の他の公共施設を含め、予約方法の統一や受益者負担のあり方について検討
- ②学校体育館など、現有施設を最大限活用する方法を検討



策定方針の概要

● 公共施設の方針：役場庁舎

役場庁舎は竣工後38年が経過し、建物や設備の老朽化のため、大規模な改修が必要な状態です。また、役場庁舎は耐震化されておらず、災害対策本部としての機能維持のため、新庁舎建設の検討も含めた速やかな対応が必要です。



短期(10年後まで) H 29

○速やかに現庁舎の耐震補強、または、庁舎の移転などについて検討します。

中期・長期(10年後以降)

(役場庁舎を耐震補強した場合及び庁舎を移転して暫定庁舎を整備した場合)

- 役場庁舎のあり方については、あらゆる可能性について検討します。
- 整備にあたっては、新庁舎の位置、機能、他の施設との複合化、デザインなどとともに、町の財政負担が少ない事業手法の検討を行います。
- 将来的には、廃止された公共施設を活用するなど、他の施設の有効活用についても検討を行います。

策定方針の概要

● 公共施設の方針：小中学校

学校施設については、町教育委員会によりコミュニティ・スクール※の導入に向けた検討が始まっているほか、学習指導要領の改定や、将来の児童・生徒数の減少を見据えた対応として小中一貫教育や学区・学校の規模に応じたより良い教育環境の提供という視点で、平成29年度から調査研究を始めていく計画があります。

※コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんが知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。



短期(10年後まで) H 29~31

- 教育委員会が中心となり、児童・生徒の減少を踏まえた小中学校の適正配置を検討し、5校からの縮減を図ります。
- 既存校舎の構造診断などを行い、長寿命化改修による使用期間の延長を検討するとともに、施設規模の検討にあたっては、他施設との複合化を含めた検討を行います。

中期(40年後まで)

- 廃止となった学校があった場合には、既存施設の活用を検討します。

二宮町では、既に公共施設再配置の取り組みが始まっています

異なる公共施設を1つにまとめたり、1つの施設に複数の機能を持たせたりすることにより、施設整備コストの削減や管理運営の効率化、空いた施設の有効活用が可能になります。利用者にとっても、各施設のサービスを同じ場所で利用できるようになったり、施設間で連携して魅力的なイベントを開催するなど、サービスの向上が期待できます。

◆にのみや町民活動サポートセンター

平成28年10月に、北口通り商店街から町民センター内に移転しました。移転により、役場庁舎と町民センターの駐車場が使用できるようになり、便利になりました。



◆(旧)ITふれあい館

ITふれあい館の機能移転によって空いた建物を民間事業者へ貸し出しており、平成28年4月よりみちる愛児園駅前ナーサリーとして活用されています。

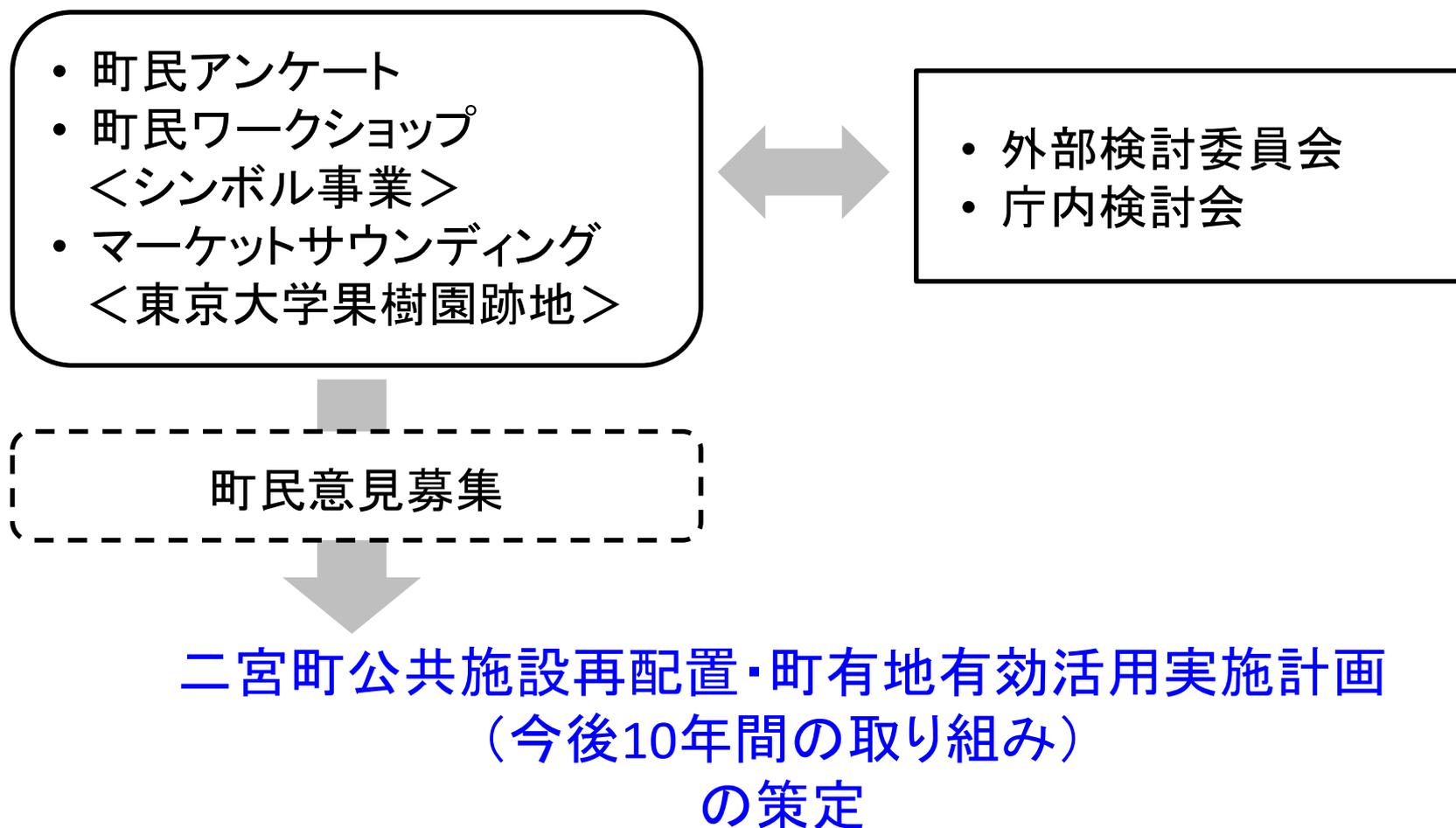


策定方針の概要

●今後の取り組み

平成29年度には、実施計画策定方針を踏まえ、今後10年間の取り組みについて「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」を策定します。

実施計画の策定にあたっては、シンボル事業を中心に具体的な内容の検討を行い、町民アンケートや町民ワークショップを実施して、町民意見の反映に努めます。



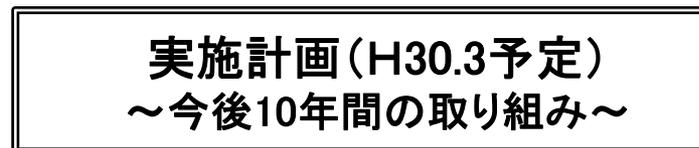
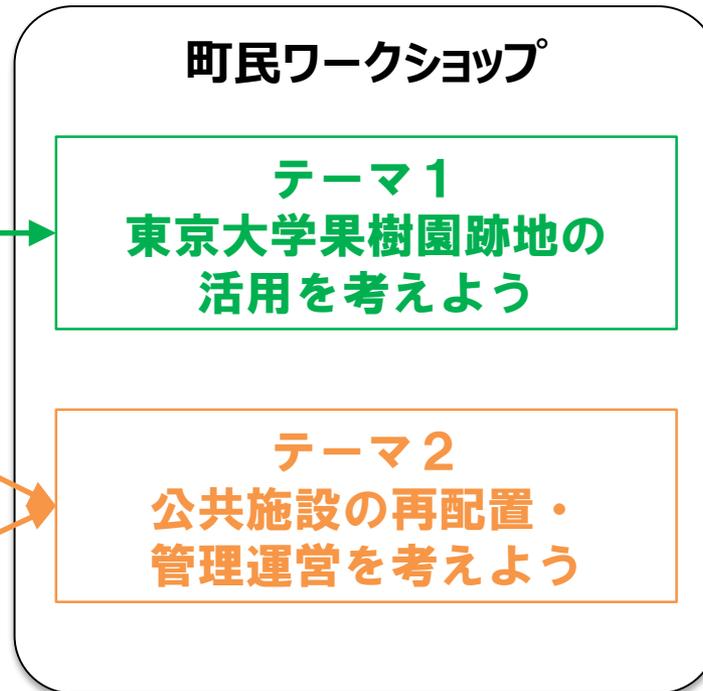
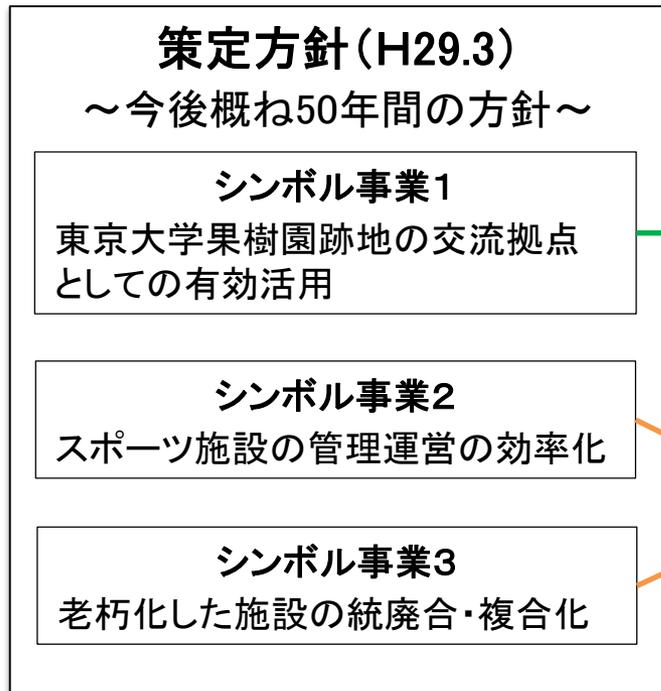
町民ワークショップの概要

●ワークショップの位置づけ

平成28年度

平成29年度

平成30年度～



公共施設再配置・町有地有効活用の推進

テーマ1

東京大学果樹園跡地の活用を考えよう

東京大学果樹園跡地を魅力的な交流拠点として、どのような場所にしたいか、実現に向けた取組みとして何ができるかについて考えます。



東京大学果樹園跡地



東京大学果樹園跡地 建物

テーマ2

公共施設の再配置・管理運営を考えよう

サービスの向上や効率的な管理運営のため、利用しやすい予約方法や民間ノウハウの導入、施設再編の方向性などについて考えます。



生涯学習センター ラディアン



町立体育館

町民ワークショップのスケジュール

10月までに全5回、土日・祝日の開催を予定しています。

時期	テーマ1	テーマ2
第1回 7月21日 〈今回〉	○ワークショップの概要 ○講演「サードプレイス、エリアブランディング」 ○オリエンテーション	
第2回 9月2日	○講演「公共空間の利活用」	
	○管理運営のスキーム	○公共施設の現状と課題
第3回 9月下旬	○講演「遊休資産の活用事例」	○講演「公共施設の再配置」 ○公共施設の管理運営
第4回 10月上旬	○シミュレーション：現地（その1）	○シミュレーションゲーム（その1）
第5回 10月下旬	○シミュレーション：現地（その2）	○シミュレーションゲーム（その2）

◎8月に東京大学果樹園跡地の現地見学会を開催予定。